

季節を記事にする

小野村 浩 東京都立田園調布高等学校教諭

1 授業のねらい

- ① 日々の新聞記事の中から、テーマに沿った記事を探し出す目を養う。
- ② 新聞記事を読解し、要旨をまとめる力を身につける。
- ③ 日常生活の中から、季節を敏感に感じ取る感性を養う。
- ④ 自己の感じた情景を的確に表現する能力を身につける。

2 授業展開

①第1時 ▶ 導入

- 新聞から得られる情報を分類・分析する。⇒ 記事を示して、「季節」が感じられる部分について話し合わせる。
- 持ち寄った新聞から、自分をもっとも季節感を感じる記事を選び出し、ワークシートに張り付け、要旨をまとめる（時間内に完成しなかった場合は宿題とする）。 ▶ **ワークシート1**

②第2時 ▶ 展開

- ①で作った作品を回覧または掲示し、友人の作品を鑑賞する。
- 各自が記者の目で身のまわりの風物・出来事から季節を感じ、記事にする。 ▶ **ワークシート2**
- 前回の課題として提出された作品は、無作為にクラスに配布して、複数の友人の作品に目を通させる。
- 時間内に完成しなかった場合は宿題とする。また、自分の記事に合った写真を探したり、イラストを描いて来るように指示する。

③第3時 ▶ まとめ

- ②で作った作品を提出させ、回覧または掲示して友人の作品を鑑賞し、評価シートを利用して相互評価させる。
- 複数の作品を見てから、最も季節を感じる優秀作品を投票させる。

④第4時 ▶ 発展

- 数名のグループに分かれて、自分たちの作品を編集して、「壁新聞」を作製させる。

3 評価の観点

- ①相互評価：タイトル(見出し)/記事の内容・構成/文章/写真やイラストについて、相互評価させる。
⇒ 評価シート
- ②指導者による評価：適時性・構成力・独自性・文章力・総合的完成度について、客観的に評価する（例えば各項目別にABCの3段階評価をする。また各項目を1点として、5点満点で点数化する）。

